

今後の進め方について(案)



「スマートプラチナ社会」の実現

ビジョンⅠ
健康を長く維持して自立的に暮らす

プロジェクト① ICT健康モデル（予防）の確立

- 健康寿命の延伸を実現する予防モデル確立のための大規模社会実証

プロジェクト② 医療情報連携基盤の全国展開

- 医療・介護・健康分野のデータを共有・活用するための基礎的インフラの整備・普及

プロジェクト③ 「ライフサポートビジネス」の創出

- 買物、配食、見守りなどの生活支援サービスを ICTで切れ目なく提供するモデルの構築

ビジョンⅡ
生きがいをもって働き、社会参加する

プロジェクト④ ICTリテラシーの向上

- ICTの「学びの場」創設
- 「情報取得」から「情報発信・交流」へ

プロジェクト⑤ 新たなワークスタイルの実現

- テレワークなどを活用した現役世代とのベストミックス就労モデルの実証

プロジェクト⑥ ロボット×ICTの開発・実用化

- 身体的機能を補完する介護ロボット、コミュニケーションロボットなどの社会実証・ガイドライン策定

ビジョンⅢ
超高齢社会に対応した新産業創出とグローバル展開

プロジェクト⑦ 「スマートプラチナ産業」の創出

- オープンイノベーションによる「シルバー」を越える新たな産業群の創出

プロジェクト⑧ グローバル展開と国際連携

- フロントランナーとして世界に貢献するためのICTシステムの標準化、各国との共同実証・連携

2020年に23兆円規模の新産業創出

- ICT超高齢社会構想会議の検討成果を踏まえ、スマートプラチナ社会の実現を早期かつ着実に図るべく、社会モデルの構築と全国展開に必要な実務的課題の解決、環境整備・人材育成のあり方、今後の普及に向けたマイルストーン等、より具体的に検討することを目的として、スマートプラチナ社会推進会議（仮称）を開催。

主な検討事項(案)

①スマートプラチナ社会実現のための成功モデルの展開方策

- ICT超高齢社会構想会議で提言いただいたプロジェクトを全国展開するためのモデルのあり方とマイルストーンの検討が必要ではないか。
 - ✓ 成功モデルの構築
 - ✓ 全国展開方策・社会実装のあり方、マイルストーン
 - ✓ プロジェクト推進に必要な検証体制のあり方 等

【成功モデルイメージ】

- 例①: レセプト等、収集・蓄積したビッグデータの解析による健康モデル
- 例②: 歩きたくなる街づくりとの連動による健康モデル

②ニュースマートプラチナ社会実現のためのICTイノベーション創出

- ICT超高齢社会構想会議の提言のターゲットイヤーである2020年を見据えた技術動向等の把握と、新たなスマートプラチナ社会の実現に向けたイノベーションの創出及びそれに必要な技術要素等の検討が必要ではないか。
 - ✓ 2020年をターゲットとした市場動向・ニーズのさらなる分析、技術動向の把握
 - ✓ イノベーション創出が期待される分野の検証
(例) 予防医療ビッグデータ、バリアフリー生活環境、住宅・街づくり、ライフサポート、テレワーク 等

③スマートプラチナ社会の実現による新産業創出とグローバル展開方策

- モデル化等を踏まえつつ、諸外国の実情にあったソリューションの提示と国際展開方策の検討が必要ではないか。
 - ✓ 国際動向、諸外国ニーズの把握と分析
 - ✓ 案件形成手法、システム・サービスのパッケージ輸出のあり方 等

スマートプラチナ社会推進会議

【構成員】有識者、事業者代表

- ・ 検討の方向性の決定
- ・ 部会への指示
- ・ 議論の取りまとめ

スマートプラチナ社会推進会議 戦略部会

【構成員】

有識者、自治体、ベンダー、通信事業者、その他の民間事業者等

【主な検討項目】

- (1) スマートプラチナ社会実現のための成功モデルの展開方策
 - 各プロジェクトのモデル化と全国展開のための検討（例 成功モデル構築、社会実装、マイルストーン）
- (2) ニュースmartプラチナ社会実現のためのICTイノベーション創出
 - 新たな技術要素とそれによるイノベーション創出のあり方の検討（例 開発すべき技術要素、活用方策）
- (3) スマートプラチナ社会の実現による新産業創出とグローバル展開方策
 - モデル化等を踏まえつつ、諸外国の実情にあったソリューションの提示と国際展開方策の検討（例 国際動向・諸外国ニーズの把握と分析、案件形成手法・パッケージ輸出のあり方 等）

今後のスケジュール（案）

